

単  
元  
名

## 日本の貿易とこれからの工業生産

教材出版社名 ( 日本文教出版 )

○ 小学校 ( 5 ) 年 教科等 ( 社会 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

( 教科等で付けたい力 )

自分にとって東大阪市の未来はどうかを考え、発信する力。

( 学校図書館等の活用で付けたい力 )

資料から異なる二つの意見の特徴を読み取り、まとめる力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

● 情報収集…東大阪市の未来について、AとBの資料を読み取る。

● 整理・分析…どちらが東大阪市にとってより良いのかを考え、自分の立場を決める。

● まとめ・表現・発信…決めた立場で、行政の観点から自分の意見を発信し、討論を行う。

○ 学習の展開 ( 全 9 時間 ) ( 学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください )

時	学習内容
1	農作物や水産物、原料、工業製品はどのように運ばれているのかを調べることにより、外国との関わりについて関心を高める。
2	日本では、工業の原料やエネルギー資源の多くを輸入していることや、その輸出品が以前と比べて変化してきていることを理解する。
3	輸出品の変化を調べることにより、これまでの日本の工業は、貿易や運輸に支えられ、加工貿易という形で発達してきたことと、貿易によって世界の国々と結びつきがあることを関連付けて考える。
4	貿易をめぐる様々な問題を調べ、工業生産では、それらの問題による影響があることや、外国との関わりも配慮しながら貿易を行う必要があることをとらえるとともに、これまでの学習を振り返る。
5	日本の大工場と中小工場の様子を調べることから、中小工場に関心をもち、東大阪市内に中小工場の様子について、グラフや文書資料などから読み取る。
6	高い技術を持つ、中小工場がそれぞれ協力して、より優れた製品を作り出していることを理解する。
7 ☆	東大阪市の事業所数減少に対する取り組み資料に着目し、複数の意見をもとに、東大阪市の工業の未来について考える。

8	工業生産にかかわる会社や工場が、社会の変化に合わせて、高い技術を生かしながら、新しい部品や工業製品を作っていることを理解する。
9	中小工場のもつ高い技術力や事業所減少の現状、それに対する取組みや、工業生産を盛んにするための取組みについての学習を振り返る。

(本時7 / 9時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

<p>本時のねらい</p> <p>東大阪市の中小工場の事業所数減少に対する取組みに関する資料から、複数の意見をもとに、自分たちにとって東大阪市は今後どう変わっていくことが望ましいかについて考えることができる。</p>
--

学習展開

	○主な学習活動	●指導上の留意点
導入	○わくわく問題の内容について振り返る。 ○学習課題を立てる。	●特徴をもとに、自分の立場を決め、利点を書いていることに振り返る。
東大阪市の未来について、このように二つの観点から特ちょうを押しやせて考えてみよう。		
1 5 分	○資料の内容を共有する	●A案、B案それぞれ何が書かれていたか確認する。 ○資料を読み、A案(海外に向かって広げる)B案(地域をさらに発展させていく)について知る。
展 開  2 5 分	○資料を読み、自分が東大阪市の市長なら、どちらが適当だと思うかを判断する。 ○自力解決(ワークシートに立場と理由を書き込む。) ○グループで交流する。 ○全体で交流する。	●各案の利点、弱点についてまとめさせる。 ●グループの意見がすべて同じであれば、対案を選ばなかった理由について話し合わせる。 ●初めに挙手等で自分の立場を明らかにする。 ●A案、B案の利点を教師が黒板にまとめる。
ま と め  5 分	○ふりかえりを書く。	●学習課題にもう一度立ち戻らせ、気づいたことをまとめさせる。



## ワークシート

### 日本の貿易とこれからの工業生産

東大阪市は工場減少に対して  
どのような取り組みをしているのだろう

考えよう① もしあなたが東大阪市の市長だとしたら、A  
(海外)とB(地域)の取り組みのどちらを応援するか。

( )

その取り組みを選んだ理由

( )

もう片方の取り組みを選ばなかった理由

( )

ふりかえり

写真資料

(著作権の関係により削除)

写真資料

(著作権の関係により削除)

写真資料

(著作権の関係により削除)

写真資料

(著作権の関係により削除)

① 釜崎、大船座、東大阪市の中小企業者の数のうつりかわり。  
(東大阪市ホームページより)

② 東京スカイツリーや海外の鉄道などで採用されている、ハードロックナットのねじ。  
(小学社会 5年 日本文教出版)

写真資料  
(著作権の関係により削除)

② 「マチココ」の取り組み「リトルライスター」がNHKで釜崎に放送されました。

③ 「こーばへ行こう！」の「ものづくり体験」と、望遠鏡学の様子。

④ 地域の父たちの声で開発したカワキタの「シェーベット」。

⑤ ③④⑥ 日本経済新聞社HP  
⑥ ③-④-⑤-⑥-⑦ ⑦ マチココHP

## 東大阪市の工業の未来

れんさんたちは、東大阪市の中小工場は、技術力があるにもかかわらず数が減り続けていることが気になりました。

そこで、そのことについて東大阪市ではどのような取り組みをしているか、東大阪市商工会議所の方になさねてみることにしました。

写真資料  
(著作権の関係により削除)



A: **東大阪市商工会議所の梅崎さんの話**  
東大阪市は、他ではまねのできないオートローンの技術や製品がたくさんあります。例えば、「ハードロック工業」さんは「絶対にゆるまないねじ」を武器に、日本だけではなく海外にも製品を売り出しています。また「帝國イオソ」さんは、銅メッキの技術がフランスで採用され、電気自動車用の電池として注目されています。「リーダー」さんは、美容師さんが使うくしを「脱プラスチック素材」で作り、海外を中心に売りを上げを大きくのびています。他にも捨てられるはずのホタテの貝がらを使ったヘルメットや、海底ケーブルなども有名です。これからの東大阪は、技術や製品をもちっと「海外へ向かって広げていくことが大切だと思います。」

B: **「こーばへ行こう！」実行委員長の早場さんの話**



東大阪市は工場と住宅が近くにあり、住民からそう音などの苦情がたか

こう！」実行委員長の早場さんになさねてみることにしました。

さんありました。そこで、工場のことをもっと知ってもらおうと「こーばへ行こう！」を始めました。「こーばへ行こう！」では、工場を地域の方に開放し、工場見学やものづくり体験、カフェ、コンサートなどを行っています。はじめはうちだけでしたが、今は35社に増えました。他にも「マチココ」さんでは、ものづくり体験ができる「リトルライスター」という音い事があり、テレビにも紹介されました。「カワキタ」さんでは、地域の方の声を聞いて、手の力がない子どもやお年寄りでも楽しくつむむをしめることができる「シェーベット」を開発しました。東大阪はテレビドラマに採用されたり、7000人もの修学旅行生が訪れたりするくらいのある町です。身近な人など、自分たちの「地域をさらに発展させていき、町の人と工場の人それぞれが交流しお互いをもっとよく知ることが、これからの東大阪にとって大切だと思います。」

## 教師作成資料

⑤ ナミチイの、  
紫フアンパーカーブル

写真資料  
(著作権の関係により削除)

④ リーダーのカーボンくし

れんさんとみおさんは、東大阪市の工業は、海外へ向かって広げる、地域をさらに発展させる、2つのやり方について、話し合うことにしました。